

平成28年度

協働のまち
づくり大賞
事例集

大分市 市民部 市民協働推進課

目 次

協働のまちづくり大賞について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

28年度 受賞事例

【協働のまちづくり大賞】

○子どもから高齢者までが集う手作りの自治会活動（曙台自治会）・・・・・・・・ 2

【審査員特別賞】

○ふるさとは羽屋（町内全員が同じ目標に向かって）（羽屋町内会）・・・・ 4

【奨励賞】

○「人つなぎ人むすび活動」～安心の地域づくりを目指して～

（特定非営利活動法人 地域ひとネット）・・・・ 6

○コミュニケーション（上宗方自治会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

○活力に満ちたふるさとづくり（ふじが丘西区自治会）・・・・・・・・・・ 10

○ふれあいサロンで高齢者の生きがい支援（花園ふれあいサロン）・・・・ 12

○日本一きれいなまちづくり（中の瀬団地自治会）・・・・・・・・・・・・ 14

『ご近所の底力再生事業』のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

協働のまちづくり大賞について

協働のまちづくり大賞は、市民の皆さまに、市内でどのような自治会活動が行われているかを知っていただき、まちづくりの参考にしてみたい、自治会の更なる活性化につなげていただきたいという思いから、平成23年度に創設されました。

平成28年度は「世代間交流」・「コミュニティの活性化」・「安心安全のまちづくり」・「青少年健全育成」・「地域福祉向上」・「日本一きれいなまちづくり」の6つのテーマを設けて募集を行い、7団体の皆様から応募をいただいたところでした。

この度、平成28年度に応募のあった全ての活動事例をまとめた事例集を作成いたしました。

この事例集が、今後のまちづくりの参考となるだけでなく、今まで自治会活動に関心のなかった人たちにも自治会活動を知っていただき、関心を持

つきっかけになればと考えております。

【世代間交流】

羽屋町内会

(大分中央地区 豊府校区)

特定非営利活動法人

地域ひとネット

(植田地区 横瀬校区)

【コミュニティの活性化】

曙台自治会

(大在地区 大在校区)

上宗方自治会

(植田地区 宗方校区)

ふじが丘西区自治会

(植田地区 東植田校区)

【地域福祉向上】

花園ふれあいサロン

(大分地区 豊府校区)

【日本一きれいなまちづくり】

中の瀬団地自治会

(大分中央地区 荏隈校区)

※会長名・代表者名などにつきましては、応募当時の方の名前を記載しております。

28年度 協働のまちづくり大賞 テーマ:コミュニティの活性化

子どもから高齢者までが集う 手作りの自治会活動

(大在地区 大在校区)
曙台自治会 溝口 義行

地域 の 課題 活動をはじめたきっかけ

昭和50年代に団地が完成し、順次入居が始まったが、大在地区外の住民がほとんどで、ご近所付き合いが希薄であった。

そこで地域の活性化を増進する観点から各種活動を開始した。

取 り 組 み 内 容

【供養盆踊り大会】

自治会内の各班の動員により物故者への供養を目的に鶴崎踊り保存会の協力を得て優雅に踊りを楽しんでいる。

【曙台秋祭り】

自治会役員、若手ボランティア(となり組)、各種団体(子ども会、防犯パトロール隊、中学校PTA等)のメンバーによりまつりの準備、進行、片づけを行っている。

【バスツアー】

幼児から高齢者まで毎年約100名が九州内の観光地を巡り参加者はユニケーションを図り充実した1日を楽しんでいる。

【公民館活動】

各種団体に活動費補助を行い、自治会員の親睦、健康増進などに努めている。

(各種団体) 自主防災会、子ども会、中学校PTA、曙台サロン、見守り隊、防犯パトロール隊、となり組、親子リズム、絵手紙、舞踊、老人会、卓球、グラウンドゴルフ、健康体操、ボランティアの会 等

活動の成果・今後の展望

高齢者から子どもまでが集う行事の企画により、近所の絆が増し、安全・安心なまちづくりに貢献している。

高齢者が各種行事に参加することで、健康増進・健康寿命への貢献に役立っている。

子ども達は、お囃子の練習の成果を祭りで披露したり、敬老会ではメッセーجزを送り高齢者を大切にする習慣が身につけてきた。

高齢者が健康体操、老人会活動や各種自治会活動への参加を楽しみに行っており、認知症予防にも貢献している。

今後の展望として、イベントの準備が非常に大変で、高齢化が進むと担い手不足となる恐れがあるため、ボランティア募集を継続していく。

高齢者に公民館を開放し、交流できるサロン等の開催を行いたい。



敬老会の様子



秋祭りの様子

28年度 審査員特別賞 テーマ:世代間交流

ふるさとを羽屋(町内 全員が同じ目標に向かって)

(大分中央地区 豊府校区)

羽屋町内会 高屋 亨

地域課題 活動をはじめたきっかけ

羽屋町内会組織は、三役会、役員会、組長会があり、行事としては花づくり運動、供養盆踊り、防災訓練、春と秋の天満社の大祭、年越しの大祭、防犯灯管理、朝のあいさつ運動、町内見回り、町内会報の発行等に取り組んでいますが、町内のみんなが同じ目標で交流できて、災害時にも助け合い、協力する力になるものは何かと考えたとき、「羽屋のまつり」をもう一度見直し、交代する役員にも、子ども達にも満足感が残り「ふるさとを羽屋」という一つの目標を作り上げようということになった。

取り組み内容

組長会、役員会ごとに育成部・町内三役・老壮会・ボランティアが目標と

したものを説明。取り組みの方向性も示し祭りの骨格を作った。

昔から天満社にある二基の神輿以外に、育成部の父親が中心になり子ども達と花みこし一基を作った。

各種役員、天満社総代、交通安全部会も祭りの役を引き受けた。小学校の4〜6年生までは鉦(かね)と太鼓、大人は笛を受け持ち公民館で練習をした。公民館の周辺には夜音が出るのでお断りとお願いに回った。不安とは逆に快く「頑張って」とはっぱをかけた。

また、例年、子ども達の父親の参加が少ないので、回覧板や電話で募集をかけた結果、当日は例年になく大勢の参加があり盛り上がり一役かった形となった。

活動の成果・今後の展望

羽屋町内には病院等医療機関も多く、スーパー・公園など生活環境が整っているせいか、人口・世帯数が年々増加している。それと同時に独居老人・高齢者世帯等が増加しており高齢者の犯罪被害・災害罹災等が懸念される。

今回は祭りの見直しを主としてみんなどで考える時間を多くもったが、一つのことを成功させようとすることで、みんなの心を一つにして、三世代が協力することとなった。今後も町内行事や災害の時にこの取り組みが生かせるようになればと思う。



まつりの様子

28年度 奨励賞 テーマ:世代間交流

「人つなぎ人むすび活動」 ～安心の地域づくりを目指して～

(植田地区 横瀬校区)
特定非営利活動法人 地域ひとネット

地域課題 活動をはじめたきっかけ

核家族化が進み、子育てが「孤育て」と言われる子育て世代、独居老人の増加、住み慣れた地域でより良い環境で子育てしたい、できるかぎり元気に暮らしていきたいという理想の地域の姿がありながら、世代の違う方々との接点が少ない現状がある。地域で気軽にあいさつが交せる環境を作ることが重要と考え、世代の違う方々が同時に一緒に楽しめる機会を提供したいと思い、活動をはじめた。

取り組み内容

富士見が丘地区の文化祭に合わせて「ふれあい囲碁」を実施した。小さい子どもや、認知症の方、障がいのある方、外国人もあらゆる人が同時に一緒に遊ぶことができ、

交流のきっかけの場を作るものである。ルールは一つで簡単なものなので、囲碁を知らない人もその場で参加できる。

最初に大きなビニールシートの碁盤を使い、10対10で対戦。その後1対1の個人戦を提供する。囲碁をしながら色々な話ができるようにしている。

活動の成果・今後の展望

参加者同士が、「子どもが○○公園でよく遊んでいます。悪いことをしていたら叱ってくださいね。」「私は○○公民館によく居るから、見かけたら声をかけてね。」等の会話をすることができるようになり、交流のきっかけを作ることができている。

この活動は、まだまだ認知されていないため、地域づくりを目指して多くの方に知っていただき、地域へ貢献したいと考えている。



「ふれあい囲碁」の様子

28年度 奨励賞 テーマ:コミュニティの活性化

コミュニケーション

(植田地区 宗方校区)

上宗方自治会 安東 幸吉

地域 の 課題 活動をはじめたきっかけ

有価資源（資源ごみ）を地域で回収することで、資産を地域に還元し、有価物に対する意識の高揚を図り、回収を通じて地域住民のコミュニケーションを図ることを目的に活動を始めた。

取 り 組 み 内 容

全住民に対し、有価物回収に関するアンケートを実施した。アンケートを実施することで、ごみに対する意識づけを図ることができ、また、有価物を回収することで、資源の尊さを知り、分別意識の向上を図ることができた。有価物回収を通じて、住民同士のコミュニケーションを図り、「上宗方3あい」運動「ふれあい」「まもりあい」「はげましあい」の浸透を図った。

活動の成果・今後の展望

ごみとして処分するものを極力減らし、ごみの中にも資源物があることを知ることができた。
有価物回収を通して地域住民がコミュニケーションを図り、地域のコミュニケーションづくりを実践している。
みんなが、この地域に住んでよかつたと思えるように自治会活動をさらに活性化していきたい。



有価物回収の様子

28年度 奨励賞 テーマ:コミュニティの活性化

活力に満ちたふるさとづくり

(植田地区 東植田校区)
ふじが丘西区自治会 高倉 喜夫

地域課題 活動をはじめたきっかけ

当地区は、昭和46年に造成された郊外に位置する閑静な住宅団地であるが高齢化が進展し、世代間交流が希薄化し自治会の存続自体が危惧されていた。また、地域の繋がりが化し、自治会活動がマンネリ化していた。

これらのことから、自治会活動を活性化し、住民同士の交流を深め、自助・共助の体制の確立が課題であった。

取り組み内容

【地域実態に即した自治会規約の改変による自治会活動の活性化】

地区内を3地区に分けそれぞれに地区長を一人置いた。地区長は、地区内の独居高齢者、要支援者宅の見回り、声かけを行い、情報共有を図っている。

【いつでも、どこでも、声掛け】あいさつ運動の推進】

概ね週3回以上、地区内で「あいさつ＋1運動」の声かけを行っている。のぼりを設置し、あいさつ運動の重要性の醸成・高揚を図っている。

【世代間交流によるふれあい活動の推進】

自治会役員・地区住民・子ども会との合同による植樹会を開催し三世代交流を図っている。

地区の球技大会に若い世代（30～50歳代）の参加を促し、懇親会も開催するなどして世代間交流を図っている。

【きれいな地域づくり】

地区内の法面に咲き誇る1万株以上のアバカンサスを地域の宝として、地区住民で管理している。また、公園・神社の清掃活動を行っている。

地域の活動はテレビ・新聞等に積極的に情報提供している。

活動の成果・今後の展望

地域内の人との繋がりが密になり、情報共有や意見・要望に迅速に対応できるようになった。

あいさつ運動でも心のコミュニケーションが芽生えつつあり、また他地区からも地区の取り組み姿勢が素晴らしいと声を耳にしている。

今後も安全で安心して暮らせる活力ある地域コミュニティづくりをしようと考えている。



アバカンサス剪定作業の様子



除草活動の様子

28年度 奨励賞 テーマ:地域福祉向上

ふれあいサロンで高齢者の生きがい支援

(大分中央地区 豊府校区)

花園ふれあいサロン 永松 松實

地域の課題 活動をはじめたきっかけ

平成13年当時、地域に住む高齢者が、身近な場所で、誰でも気軽に楽しく参加できる「交流・ふれあいの場」として、「地域ふれあいサロン」が各地域で実施されはじめていたが、花園地域は高齢者同士の交流・趣味のサークル・教養講座等の場がなく高齢者の孤立感があった。

取り組み内容

自治会と連携しながら、高齢者の交流の場として様々な取り組みを行っている。

- ・ 教養講座
- ・ 施設見学会
- ・ 健康体操
- ・ 子どもたちと七夕飾りを通じた交流

- ・ 小学校児童の下校時に合わせて安全の見守りパトロールの実施
- ・ 小学校へ手作りで縫った雑巾の寄贈

・ 金融機関による高齢者を狙ったオレオレ詐欺防止の講習会 等

平成28年4月の地震の際には、地域の足の悪い人たちを豊府小学校へ自主避難させた。また、毛布を集めたり、飲み物を配布するなど積極的に活動した。

町内の花園まつりでは、餅つきを手伝うなどしている。また、校区の豊府まつりにも合唱団として参加している。

活動の成果・今後の展望

平成28年9月でふれあいサロンは15年を経過し、サロン開催回数も360回を超え、高齢者の憩いの場として定着している。

サロンへの参加で友達ができ、生きがいに繋がっていることを実感してい

る。自治会行事にも積極的に参加し自治会の住みよいまちづくりにも寄与している。

小学校児童の下校時に合わせて見守りパトロールは子どもたちの安全に寄与し父兄から感謝され、地域の防犯に役立っている。

今後の展望としては、サロンの充実とともに、子どもたちと高齢者の交流・接点をさらに増やしていきたい。



28年度 奨励賞 テーマ：日本一きれいなまちづくり

日本一きれいなまちづくり

(大分中央地区 荏隈校区)
中の瀬団地自治会 片野 房雄

地域課題 活動をはじめたきっかけ

市営「中の瀬住宅」は全部で3棟(約400世帯)からなる団地であるが、以前使っていた古い棟が34棟あり平成21年頃に解体された。その頃から各棟の通路などにごみが散乱するようになり、改善が必要となった。

取り組み内容

市営住宅を大事に美しくしようと24年度より班長を中心に清掃活動に取り組む。班長会議で住民全員に参加を呼びかけた。最初はなかなか理解してもらえず、苦勞したが、説明を繰り返し、平成24年6月には全棟の全員が参加するようになった。

当初は、市に入居費や駐車場代を支払っているのに、なぜ自分たちが清掃をしないといけないのか、市がすべてするべきとの意見が多かった。

しかし、自分たちが生活している場所は自分たちで美しくするべきではないかと思い、反対する人たちを説得した。

今では、全員笑顔で清掃活動を実施している。

活動の成果・今後の展望

高齢者が清掃活動をしながら、住民と笑顔で対話するようになり、心身の健康につながっている。

欠席した場合は、家を訪ねるなどして高齢者の見守りを行っている。

5年、10年と清掃活動を続け、一度は中の瀬住宅に住んでみたいと思われるように清掃活動を続けていきたい。



清掃活動の様子

『ご近所の底力再生事業』のご紹介

大分市では、自治会活動を促進するための支援メニューとして、『ご近所の底力再生事業』を実施しており、多くの自治会でご利用いただいております。

事業の趣旨

誰もが安全・安心で快適に暮らせる地域づくりを目指し、地域の課題は地域住民自身の手で解決していこうという気運を高めるとともに、課題解決のための取り組みを市内全域の隅々にまで広げていくため、自治会等が行う地域コミュニティの再生及び住民による地域の様々な課題の解決を図るための事業に対して助成金を交付するものです。

助成対象事業

- 地域の安全を守る事業
- 青少年の健全育成に関する事業
- 地域福祉の向上に関する事業
- 世代間の交流の促進に関する事業
- 地域の環境美化・保全に関する事業
- 地域の活力の向上に関する事業

これら以外でも、地域コミュニティの再生に寄与する事業であれば対象となります。

助成限度額

自治会内の世帯数により決定します。
30世帯まで 30,000円
50世帯まで 35,000円
以降50世帯ごとに+5,000円

【助成対象とならない事業】

- ◆単に物品の購入にとどまるもの
- ◆娯楽、懇親、遊興と認められるもの
- ◆既に事業を開始しているもの、終了しているもの

【助成対象とならない品目】

- ◆アルコール・ジュース等の飲料、お菓子など
- ◆弁当（買ったもの）、調理を必要としない食材
- ◆景品・賞品・参加賞
- ◆人件費、工事費など
- ◆ご神体の入っている神社の神輿、盆踊りなど政教分離に反するもの

申請等について

複数の自治会が合同で申請することも可能で、その場合の助成限度額は各自治会の助成限度額の合計となります。詳細については、最寄の支所、地区公民館の担当まで、お気軽にご相談ください。

○事業の具体例

事業名	取組み	補助対象経費具体例
地域の安全を守る事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、見守りパトロール ・防災訓練、炊き出し訓練 	ベスト、帽子 かまど、炊き出し用食材
青少年の健全育成に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会主催のこども工作教室 ・子ども音楽クラブ活動 	工作材料、文具 太鼓バチ、楽器
地域福祉の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とのふれあい交流会 	高齢者用座椅子、テーブル
世代間の交流促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流餅つき大会 ・三世代交流グラウンドゴルフ 	臼、杵、餅米、あんこ グラウンドゴルフ用品
地域の環境美化又は保全に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内環境整備事業 ・花いっぱい運動 	草刈り機、替刃 花の苗、土、プランター
地域の活力の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化自治会まつり 	自治会名入りハッピー、 マイク等音響機器



フラワーポットの設置による花いっぱい活動



グラウンドゴルフを通じた世代間交流



子どもの見守りパトロール



住民参加の防災訓練

平成28年度 協働のまちづくり大賞表彰式



問い合わせ先

大分市 市民部 市民協働推進課

電話：097-537-7251